



ハンドボール部

■ 1942年(昭和17年)公認

部員数

60名



部長
萬歳寛之
法学学術院
教授

就任以来、早慶・早関定期戦等のハンドボールの試合を観戦する機会に恵まれてきました。ハンドボールはすごく面白い！今年度の戦績については、それぞれの思いがあるかもしれませんが、卒業後に壁にぶつかった時には、常に高みを指し、真摯に練習を積み重ねてきた経験振り返って欲しい。下記の言葉を期します。「諸君は必ず失敗する。ずいぶん失敗する。成功があるかも知れませぬけれども、成功より失敗が多い。失敗に落胆しなされる。失敗に打ち勝たなければならぬ。たがたび失敗して、そこで大切な経験を得る。この経験によって、もって成功を期さなければならぬのである。」(大隈重信・初代総長)御卒業、誠にありがとうございます！



男子部門監督
三津英士

25年目標「大学日本一」、チームコンセプト「闘う」「臥薪嘗胆」を掲げた。春、秋リーグ共に3勝6敗の7位。最終戦の筑波戦は前半6点差を後半巻き返し、残り1秒で逆転勝利。インカレは1回戦同志社戦勝利、2回戦は全国強豪の大阪体育大学戦。全員が持ち味を発揮、後半逆転、後1歩まで追い詰めた。何度突き放されても泥臭く食らいつく勝利への執着心、最高の早稲田らしさを体現。守屋主将、西村副将、外種子田副将を中心に4年生9人が縦割り班のリーダーとして日々努力を重ね、下級生を引っ張り、チームを1つにまとめた。本当にありがたい。卒業後も夢に向かって挑戦続けて欲しい。君達なら必ず成し遂げられる。これからも応援している。



男子部門主将
守屋雄司
スポーツ科学部
法政大学第二

四年間を振り返り何よりも驚かされたのは、私たちを支え、応援してくださる方々の存在の大ききでした。この四年間は、思うような競技成績を残せない苦しいシーズンが多くありました。しかし、そのような状況下でも、歴代のOB・OGの方々や保護者の皆様、そして多くの方々々が試合会場に足を運び、変わらぬご声援とご支援をくださいました。さらに三年時からは、新たに協賛して下さる企業様が現れるという出来事もありました。このような環境でハンドボールに打ち込めたことは、早稲田大学だからこそ得られた非常に貴重な経験であり、財産です。最後に、四年間熱心にご指導いただいた監督、コーチ、そしてスタッフの皆様へ深く感謝申し上げます。



男子部門主将
井上元
教育学部
大宮北

4年間、主務・副務として早稲田大学体育会組織の運営に携わることが出来たことを嬉しく思います。選手としての活動と並行での業務や、生活拠点が東伏見から遠いということなど、大変なことは様々ありましたが、振り返ってみるとどれも貴重な経験だったと感じています。選手としてチームを勝たせるといふ目標は叫びませんでした。競技でのトレーニングに加え、裏方としての日々の活動を支える経験ができたということを前向きにとらえ、今後のキャリアに活かして参ります。最後に、これまで弊部の活動を支えて下さった競技スポーツセンターの職員の皆様や、他部活の主務・副務の皆様へ心より感謝いたします。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



女子部門監督
宇野 諒

今年度「春季リーグ戦4位以内」「秋季リーグ戦3位以内」「インカレベスト4」を目標に掲げスタートした。春季リーグ戦は目標を達成し4位という成績だった。秋季リーグ戦では上位のチームと良い試合ができたが、振り返ってみるとどれも貴重な経験だったと感じています。選手としてチームを勝たせるといふ目標は叫びませんでした。競技でのトレーニングに加え、裏方としての日々の活動を支える経験ができたということ前向きにとらえ、今後のキャリアに活かして参ります。最後に、これまで弊部の活動を支えて下さった競技スポーツセンターの職員の皆様や、他部活の主務・副務の皆様へ心より感謝いたします。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



女子部門主将
杉浦亜優
スポーツ科学部
名古屋経済大学市邨

4年間を振り返ると、たくさんの方々から私たちのチームを応援してくださっていることを改めて実感しました。OG・OBの方々をはじめ、どんな時も支えてくださった皆様のおかげで、最後まで戦い抜くことができました。主将として挑んだ最後の1年間は、最高の同期とともに取り組んだチームづくりが苦しくも楽しく、非常に充実した日々でした。最終目標まであと一歩届かず、新しい歴史をつくることはできませんでしたが、この4年間は私にとってかけがえない時間となりました。このチームらしい温かさに何度も救われながら、ここまで走り抜けることができました。これまで関わってくださったすべての方々へ深く感謝申し上げます。



女子部門主将
後藤 明香里
スポーツ科学部
東京学芸大学附属

1年間主務としての活動の中で、ご支援・ご指導いただいた皆様には深く感謝申し上げます。多くの方々から協賛や温かいご支援を賜り、チームが日々の活動を続けることができました。心より御礼申し上げます。これまでのご支援に結果で恩返しできるよう、部員一同精進してまいりました。私自身、この経験を糧に社会に出ても努力を続けていきたいと考えております。今後とも変わらぬ女子ハンドボール部へのご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇関東学生ハンドボール男子1部春季リーグ

(4月19日～5月25日)

7位(3勝6敗)

- ▷筑波大(○42-32)
- ▷順天堂大(●32-33)
- ▷東海大(○37-35)
- ▷中央大(●34-36)
- ▷日本体育大(●27-34)
- ▷国士館大(○25-40)
- ▷立教大(○36-31)
- ▷日本大(○25-33)
- ▷明治大(●25-42)

◇第78回早関ハンドボール定期戦 (6月28日)

優勝

▷関西学院大(○30-29)

◇第63回早慶ハンドボール定期戦 (7月6日)

優勝

- ▷慶應大(○35-26)
- ▷明治大(○33-32)

◇関東学生ハンドボール男子1部秋季リーグ

(8月30日～9月28日)

7位(3勝6敗)

- ▷明治大(●36-43)
- ▷日本体育大(●36-46)
- ▷東海大(○32-31)
- ▷国士館大(●34-41)
- ▷日本大(●20-36)
- ▷中央大(●28-43)
- ▷立教大(○30-24)
- ▷順天堂大(●33-34)
- ▷筑波大(○32-31)

◇高松宮記念杯男子第68回令和7年度

全日本学生ハンドボール選手権大会 (11月2日～6日)

ベスト16

- ▷同志社大(○29-27)
- ▷大阪体育大(●37-41)

(女子)

◇2025年関東学生ハンドボール連盟春季リーグ戦

(4月19日～5月24日)

- ▷○20(8-10, 12-7) 17 順天堂大学
- ▷●27(12-19, 15-18) 37 東京女子体育大学
- ▷○26(14-7, 12-16) 23 日本体育大学
- ▷●20(10-13, 10-19) 32 東海大学
- ▷○35(16-11, 19-13) 24 法政大学
- ▷●24(12-13, 12-18) 31 筑波大学
- ▷○30(15-11, 15-13) 24 日本女子体育大学
- ▷○26(13-12, 13-9) 21 桐蔭横浜大学
- ▷○26(11-11, 15-9) 20 国士館大学

◇女子第16回早関ハンドボール定期戦 (6月28日)

▷○28(15-9, 13-16) 25 関西学院大学

◇2025年関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦

(8月30日～9月27日)

- ▷○28(18-9, 10-12) 21 桐蔭横浜大学
- ▷△25(15-11, 10-14) 25 順天堂大学
- ▷○32(15-17, 17-9) 26 国士館大学
- ▷○33(17-12, 16-12) 24 法政大学
- ▷○34(17-13, 17-13) 26 日本体育大学
- ▷○31(19-12, 12-7) 19 日本女子体育大学
- ▷●23(14-15, 9-15) 30 筑波大学
- ▷○30(14-15, 16-11) 26 東海大学
- ▷△30(15-16, 15-14) 30 東京女子体育大学

◇高松宮記念杯女子第68回・女子61回令和7年度

全日本学生ハンドボール選手権大会 (11月2日～6日)

- ▷○23(9-11, 14-10) 21 中京大学
- ▷○32(18-11, 14-14) 25 日本体育大学
- ▷●19(8-12, 11-8) 20 関西学院大学

